

基本情報

指標番号
5002

名称
小児虫垂炎入院症例で超音波検査の施行割合

分母
虫垂炎で入院した小児（5歳から15歳）症例

分子
分母のうち、入院当日に超音波検査を施行された症例

指標群
消化器系

意義
Choosing Wisely

年度
2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット
DPC 様式 1,EF ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め5歳以上、15歳未満の症例
3. このうち、虫垂炎のため入院した症例。入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとしてリストのコード（虫垂炎）が含まれる症例

ICD10	名称
K35\$	急性虫垂炎
K36\$	その他の虫垂炎
K37\$	詳細不明の虫垂炎

4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. 入院日に超音波検査が施行された症例 D215（超音波検査（断層撮影法）（胸腹部）160072210、超音波検査（Aモード法）160072110、超音波検査（心臓超音波検査以外）（断層撮影法とMモード法併用）160072450、超音波検査（心臓超音波検査以外）（Mモード法）160072750）

その他

薬剤一覧の出力
いいえ

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

パーセント

結果提示時の並び順

降順

測定上の限界・解釈上の注意

1. 入院前の外来での検査を含む。ただし、入院が深夜0時付近の場合、検査日が異なるため誤差が生じる
2. 病棟検査などにより、レセプト算定を行わない場合に指標値に反映されない
3. Choosing Wisely では、CT の検査前に超音波検査の施行を検討することが勧められている。本指標では超音波検査をしているかどうかを指標値とした。
4. 2017年に発行された「エビデンスに基づいた子どもの腹部救急診療ガイドライン 2017」でも最初の画像検査として腹部超音波検査が推奨されている。(推奨度 A)

参考資料

参考値

参考資料

1. Don't do computed tomography (CT) for the evaluation of suspected appendicitis in children until after ultrasound has been considered as an option. <http://www.choosingwisely.org/clinician-lists/american-college-surgeons-computed-tomography-to-evaluate-appendicitis-in-children/>
2. エビデンスに基づいた子どもの腹部救急診療ガイドライン 2017 日本小児救急学会